第1号様式

事業系一般廃棄物減量等計画書（多量用）　記入例

提出日を記入してください。

令和 3 年 6 月 00 日

（あて先）　川 崎 市 長

通知書の中央に記載された認定番号を記入してください。

認定番号 0000

事業場の所在地　川崎市川崎区宮本町１番地

事業場の名称　（株）川崎環境電気　生環事業所

事業場の代表者名　川　崎　　太　郎

印は不要となりました。

事業者の区分	所有 ・ 占有 ・
業種・業務内容	業種　電気機械器具製造業　業務内容　エレクトロニクス製品の技術開発
事業系一般廃棄物管理責任者	氏名　幸　花　子 所属　環境管理部　電話　0
廃棄物の管理等	廃棄物管理組織 有・無　分別ストックヤード 有・無 廃棄物管理規定 有・無　処理施設 有・無 社内教育 有・無

所有…建物等を所有している場合
占有…建物等を賃借等している場合
管理…建物等の管理等をしている場合
（ビル管理業など）

事業系一般廃棄物に関する管理責任者を選任してください。役職は問いません。

【厨芥類】食品残さなどの生ごみの量を記入してください。紙類と厨芥類をわけていない場合は、おおよその割合で計算してそれぞれの発生量を記入してください。

空き缶、空き瓶は産業廃棄物に該当しますが参考として数値を記入してください。

剪定枝など上欄に入らない一般廃棄物を記入してください。プラスチック等の産業廃棄物は記入不要です。

資源化の状況	資源化物名	回収業者名	住所	電話
	1 古紙	（株）○○商店	千葉県船橋市中央１	047-△77-□777
	2 ダンボール	△△商会	川崎市多摩区枡形２	044-□55-☆555
	3 空き缶			

資源化物の名称（新聞・雑誌、厨芥類　など）を記入してください。また、回収業者の名称、住所、電話番号を記入してください。

減量・再生利用等の取組		
	実績	○ 古紙、ダンボール、ミックスペーパーとして回収し製紙工場で再資源化 ○ 厨芥類はコンポスト装置で有機肥料の原料として再資源化 ○ 空き缶、空き瓶は回収業者を通じ原料として再資源化
	計画	○ その他紙類の分別を拡大し資源化率を高める

ごみの減量化・資源化の取組について記入してください。

令和２年度に計画しているごみの減量化・資源化の取組について記入してください。

再生品等の使用		
	実績	用紙類　（OA用紙）・複写用紙・トイレットペーパー・封筒　） 事務用品　（ノート）ボール 雑品類　（せっけん・テ エコマーク商品（消しゴム
	計画	○ 蛍光ペン・マジック・OHP・名札ケース等の使用拡大

事業場で使用している再生品やエコマーク商品があれば○をつけるか、空欄に記入してください。

再生品等の使用計画について記入してください。

令和２年度実績　　単位　t／年

種別	発生量 ①	資源化量 ②	事業場内処理量 ③	指定処理施設搬入量 ①－②－③	資源化率（%） ②／①
新聞・雑誌	38	38			100%
段ボール	170	170			100%
その他紙類	291	86		205	30%
厨芥類	60	25		35	42%
空き缶	59	59			100%
空き瓶	12	12			100%
その他	30			30	0%
合計	660	390		270	59%

売却・無償譲渡しているものについても発生量に含めてください。

資源化施設（民間業者）に搬入した量、及び資源物として収集運搬業者に引き渡した量を記入してください。

事業場内で処理を行った量を記入してください。事業場内での処理により資源化されるものについては左欄②に量を記入し、フローシートで場内処理であることを明記してください。

市の処理センター（焼却場）に自ら搬入した量、及び焼却ごみとして許可業者に委託した量を記入してください。

令和３年度計画　　単位　t／年

種別	発生量 ①	資源化量 ②	事業場内処理量 ③	指定処理施設搬入量 ①－②－③	資源化率（%） ②／①
新聞・雑誌	37	37			100%
段ボール	166	166			100%
その他紙類	280	143		137	51%
厨芥類	55	38		17	69%
空き缶	58	58			100%
空き瓶	10	10			100%
その他	25			25	0%
合計	631	452		179	72%

同上　同上　同上　同上

注1　廃棄物の排出・管理状況フローシートを添付してください。

2　発生量、資源化量、事業場内処理量、指定処理施設搬入量及び資源化率は、種別ごとに記入してください。

※売却・無償譲渡しているものも発生量及び資源化量に含めご記入ください。